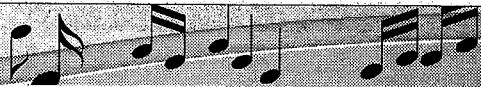


# 第59回全日本吹奏楽コンクール



## 岡山学芸館などの9校金賞

### 出雲北陵、大阪3校も

#### 高校の部

第59回全日本吹奏楽コンクール(全日本吹奏楽連盟、朝日新聞社主催)の高校の部が23日、東京都杉並区の普門館で開かれた。関西代表の大阪勢3校は

すべてが「金」で、うち淀川工科大学は24回目の金受賞。同連盟の平松久司理事長は前日の中学の部も含め、「技術し

ベルが上がり、表現力を競い合った」と総評した。高校の部の演奏は、BS朝日で11月19日(土)午後1時〜2時55分に放映される。

- 成績は次の通り。
- 【金賞】岡山学芸館(岡山)、常総学院(茨城)、大阪桐蔭(大阪)、幕張総合(千葉)、精華女子(福岡)、愛工大名電(愛知)、淀川工科(大阪)、出雲北陵(島根)、明浄学院(大阪)
  - 【銀賞】福岡工大付属城東(福岡)、小松明峰(石川)、片倉(東京)、磐城(福島)、白子(三重)、大宮(埼玉)、横浜創英中高(神奈川)、東海大高輪台(東京)、光ヶ丘女子(愛知)
  - 【銅賞】埼玉栄(埼玉)、北条(愛媛)、伊奈学園総合(埼玉)、防府西(山口)、玉名女子(熊本)、札幌白石(北海道)、湯本(福島)、聖ウルスラ学院英智(宮城)、富山商(富山)、伊予(愛媛)、旭川商(北海道)



金賞に選ばれ、笑顔を見せる岡山県の岡山学芸館の生徒。23日午後、東京都杉並区の普門館、金子淳撮影

## 福島の2校に重ねる祈り

ことさらに震災への思い入れを重ねては聴くまい、と決めてはいたが、やっぱりそうはいかないものだ。それぞれの強い思いを映す福島2校の演奏に、胸を打たれずにはいられなかった。福島県立磐城が奏でたのはパッハの「トッカータとフーガニ短調」。冒頭の、劇的な下降ユニゾンで有名な名曲だ。1本のささやかな旋律が2本、3本と積み重なってゆき、最後には大きな建築物を成す。指揮を務めた根本直人さん自ら編曲した。根本さんはこの春、定年を迎えた。これから復興の未来を担うであろう子供たちへの、心をこめた手づくりの贈り物だ。

福島県立湯本が選んだのはラベルのピアノ三重奏曲。ニュアンス豊かに、室内楽ならではの親密さを携えたチャミンングな演奏を繰り広げた。

#### 解説

レベルの高さゆえ難曲の応酬となった一方で、この2校は、美しいハーモニーを皆で紡げる素朴な幸福をかみしめていた。合唱王国でもあるかの地が、再び音楽あふれる街へと再生するように。そして、楽器を豊かな人生の伴侶にする生徒がこの場から一人でも多く巣立つように。そう心から祈りたい。

スミスの「華麗なる舞曲」を演奏した岡山学芸館と、スパーク「宇宙の音楽」を奏でた福岡県の精華女子は、ともに個々の奏者の技術の高さと追隨を許さぬ一体感で息もつかせぬ快演。大阪桐蔭も、伝統の豊かな響きでワグナー「ワルキューレ」の神々の世界を生き生きと描き出し、金賞に輝いた。

定番の交響曲も、編曲者が異なる新たな装いで響いて楽しい。ラベルの「ダフニスとクロエ」でも、福岡工大付属城東(佐藤正人編曲)は柔らかな光のあわいを繊細に描き出し、山

口県立防府西(平井哲夫編曲)は厚みある響きでギリシャ神話の世界をおおらかに表現した。埼玉栄は、カットも色合いも通常とは異なるプッチーニの「トウランドット」(穴倉晃編曲)で聴衆を引き付けた。埼玉県立大宮は、ベルリオーズ「幻想交響曲」で大作曲家の複雑怪奇な妄想の世界に挑戦。これもまた、指揮を務めた斎藤淳さんによる思いのこもった編曲だった。埼玉県立伊奈学園総合のR・シュトラウス「英雄の生涯」も、力業で押さず、豊かな想像力で楽曲の世界観を押し広げてみせた。

大阪府立淀川工科の十八番「大阪俗謡による幻想曲」には「待つてました」の大拍手。心沸き立つ音楽に、皆が心をとっにする。これがどれほど有り難く、幸福なことか。いつも聴いている曲のはずなのに、今年とりわけ胸に響いた。

(吉田純子)